

2007 年度第 4 回連合理事会議事要録

日 時：2007 年 10 月 31 日（水）17:00～19:30

場 所：統計数理研究所 新館 2 F 特別会議室

出 席：学会連合理事：北川源四郎，岩崎 学，岡太彬訓，鎌倉稔成，北川源四郎，白旗
慎吾，田中勝人，丹後俊郎，馬場康維，矢島敬二

委任状：田栗正章，水田正弘，山口和範

2008 年度連合大会委員：清水邦夫，篠崎信雄，石岡恒憲

オブザーバー：

2008 年度連合大会副事務局長：森 裕一

日本学術会議統計科学分科会委員：竹村彰通，渡辺美智子

議事に先立ち，北川理事長からオブザーバー3名の参加が提案され了承された。

議 事

1. 2007 年度連合大会報告

石岡事務局長から，2007 年度大会の会計報告（暫定版）および参加者数などの説明があった。会計報告の最終版は確定次第承認することとした。

2. 2008 年度連合大会

(1) 参加学会

応用統計学会，日本計算機統計学会，日本計量生物学会，日本行動計量学会，日本統計学会の 5 学会の共催，日本分類学会の協賛が承認された。

(2) 企画委員会

清水委員長から企画委員会委員名簿が提案され，承認された。また，学会選出の委員の人数は，学会の規模などの要因を考慮して 1 名でもよいことが確認された。協賛学会の日本分類学会は委員を出さないことで合意した。

(3) 実行委員会

篠崎委員長から実行委員会委員名簿が提案され，承認された。大会日程は，2008 年 9 月 7 日（日）から 4 日間を予定したい旨の説明があり承認された。大会への助成金については，科研費，民間，大学などを対象に可能性を検討していることが報告された。

(4) 事務局

石岡事務局長から事務局側の要望が資料に基づいて説明され，承認された。2007 年度と

の相違点として、次の点が確認された。

(a) 副事務局長を置く。

(b) 会計監査を置く。2008年度は、応用統計学会と日本計算機統計学会から各1名選任。報告先は理事長とし、各理事は各学会員に衆知する。

なお、寄付・助成金の目標額は設定するが、未達でも事務局が責を負うものではないことの確認などがあった。さらに、事務局の構成メンバーについても他の委員会と協議して決めることとした。

(5) 組織の見直し

北川理事長から、事務局などの名称、Web委員会および保育室委員会の位置づけについて検討する必要性が説明され、事務局、企画委員会、実行委員会に検討が委ねられた。

3. 統計科学関連の教育実態調査

竹村、渡辺両オブザーバーから、大学における統計教育の実態に関するデータ収集の重要性に関する説明があり、日本学術会議数理科学委員会統計科学分科会と連携して、アンケート調査を行うことで合意した。調査の実施のために、統計教育実態調査WGを組織し、委員については、竹村、渡辺両氏以外に、応用統計学会、日本行動計量学会、日本統計学会の3学会から1名ずつを選任することが決められた。

4. 『応用統計学事典』の企画案

鎌倉理事から内容についての説明があった。質疑応答の後次回に検討することとした。

5. 統計関連学会連合規程案

田中理事から改正点について説明があった。委任状に関する記述などを修正した上で、次回に再提案することとなった。

6. 次回の開催時期

来年1月を予定するが、最終的な日程調整は後日行なう。